

平成28年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,350	2,386	36	(注1)
施設整備費補助金	327	130	△197	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	6	69	63	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費 交付金	17	15	△2	(注4)
自己収入	405	396	△9	
授業料、入学料及び検定料収入	229	223	△6	(注5)
附属診療所収入	115	116	1	(注6)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	61	57	△4	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金 収入等	30	39	9	(注8)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	3,135	3,035	△100	
支出				
業務費	2,754	2,720	△34	
教育研究経費	2,580	2,508	△72	(注9)
診療経費	174	212	38	(注10)
施設整備費	344	145	△199	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	6	69	63	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等	30	27	△3	(注13)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1	1	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費 納付金	—	—	—	
計	3,135	2,962	△173	
収入-支出	—	73	73	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、追加配分による増加等により、予算額に比して決算額が36百万円多額になっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では建設中の総合研究棟が年度内に完了しなかったことに伴い、年度内の支払額を除いて返還を行ったため、予算額に比して決算額が197百万円の減となっています。
- (注3) 補助金については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたため、予算額に比して決算額が63百万円増となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階では予定していなかった要求額からの減額があり、予算額に比して決算額が2百万円減となっています。
- (注5) 自己収入のうち授業料、入学料及び検定料収入については、在学者の減等により、予算額に比して決算額が6百万円減となっています。
- (注6) 自己収入のうち附属診療所収入については、患者数当初の見込みに対し3.4%増化したことにより、予算額に比して決算額が1百万円増となっています。
- (注7) 雑収入については、主として間接経費収入が減少したことにより、予算額に比して決算額が4百万円少額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、見込んだ以上の寄附金等の収入があったことにより、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注9) 業務費のうち教育研究経費は、学内予算の変更等により、予算額に比して決算額が72百万円少額となっています。
- (注10) 業務費のうち診療経費は、主として附属病院収入の増加に伴い、予算額に比して決算額が38百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)及び(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が199百万円減となっています。
- (注12) 補助金については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が63百万円増となっています。
- (注13) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が3百万円減となっています。